

特集 オープンキャンパス

“夢をかたちに育む場”

「未来のあなた」をプロデュースするために



富永 優彦

大学教育機構

アドミッションセンター長

(教授)

オープンキャンパスへ ようこそ

大学のことを知るための情報源には事欠かない今日ですが、自分で足を運んでみると、また新たな発見に遭遇するものです。おそらく、そんな期待を胸に正門を入れたのではないでしょうか。ようこそ山口大学へ！

さて、山口大学のオープンキャンパスでは、大学全体を把握するための全学企画と各学部の内容を深く知るための学部企画を用意しました。大学の教育内容や学生生活などのインフォメーションをはじめとして、さまざまな質問にお応えできるように学生・教職員がサポートしています。

自分の志望している学部や学科とのミスマッチがないことを確認し、大学生活への不安や疑問を解消することによって、キャンパスライフへの夢も一層ふくらみ、勉学の励みにもなるでしょう。そして、「未来のあなた」をプロデュースするためのヒントを得てほしいと願っています。ぜひ有意義な一日を過ごしてください。

ディスカバー山口大学

山口大学は、国立大学の中では中規模総合大学として位置づけられます、人文・教育・経済・理・

医・工・農の領域に及ぶバランスのとれた7つの学部を擁していることは大きな特色のひとつです。このことは学生にとって様々な学部の学生との交流を可能にし、幅広い視野で物事を考える環境に身を置くことになります。

各学部には他大学にはない特色や教育施策、研究業績などがありますが、誌面に限りがありますのでWebページや「大学案内」等でご覧いただくことにして、ここでは全学部共通の教育の特色を2点だけ挙げてみたいと思います。

ひとつは、TOEICを活用した英語のコミュニケーション能力の養成です。山口大学では平成16年度、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に「TOEICを活用した英語カリキュラム」が採択され全国的に注目を浴びています。社会の要請に対応した教育のひとつと言えるでしょう。

もうひとつの特色として「キャリア教育の充実」を挙げておきたいと思います。「未来のあなた」をプロデュースするためには、キャリアデザインを考えなければなりません。学生が主体的にキャリアを築いていくことができるようサポートする授業科目が設けられ、就職支援体制についても国立大学の中では、とりわけ充実した組織

機能を果たしています。

夢をプランニングする

「未来のあなた」をプロデュースするためには、夢をプランニングすることから始めなければなりません。そのファースト・ステップが大学の学部選択です。自分の好きなこと、やりたいことを見つけることができる人は、夢のプランニングが容易です。進路選択の3要素として「興味・適性・能力」などとよく言われますが、大切な要素は「興味」です。能力や適性など高校生の段階で判断できるも

のではありません。「好きなこと、やってみたいことが見つかれば、それが適性」だと考えればいいのです。「能力」など好きでやっていれば身につくものです。

大学時代にしかできないこと、大学時代だからこそできることがあります。存分に夢をふくらませてください。

大学が求める学生像

山口大学は、「未来のあなた」をあなた自身がプロデュースするために、あなたの個性を伸ばすサポーターとして共に育み合う「共

育」を標榜しています。

今年度から、新たに下に示したような全学共通のアドミッション・ポリシーを掲げました。

このアドミッション・ポリシーと併せて、各学部・学科等では、それぞれの教育理念・目標に沿ったアドミッション・ポリシーを明示して、多様な入学者選抜を実施しています。

「大学が求める学生像」に適応しているかどうかを自己診断し、受験チャンスを活かしてチャレンジしてください。山口大学はあなたを待っています。

山口大学のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

[求める学生像]

- 学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- 明確な目的意識をもち、高い目標を掲げて努力してきた人
- 自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- 自分の考え方や意見を論理的に説明できる人

学内連絡先

TEL : 083-933-5045

E-mail : tom21@yamaguchi-u.ac.jp

Web : <http://arc.yamaguchi-u.ac.jp/>

学生支援センターと学生支援課

～ときには‘おふくろ’のように、ときには‘おやじ’のように～



小宮 克弘

大学教育機構

学生支援センター長
(大学院理工学研究科 教授)



末永 保夫

学務部学生支援課長

山口大学には10,000人を超える学生がいます。これらの学生たちを支援するのが学生支援センターとその事務組織である学生支援課です。

ひと口に学生たちに対する‘支援’といつても、それは多岐にわたります。入学金や授業料の減免、奨学金などの経済面での支援、クラブ活動やボランティア活動など各種の正課外活動の支援、体育施設や学生寮、学生食堂、大学会館などの維持管理と運営、友人関係や修学上の悩みごとやトラブルの相談、そして就職に関する支援などです。

以下にそのいくつかを紹介します。

正課外活動の支援

文部科学省が全国の大学の特色ある教育改革の取組みを財政的に支援する「特色ある大学教育支援プログラム（略称：特色GP）」に、山口大学から申請した「おもしろプロジェクト」（平成17～20年度）が採択されました。「おもしろプロジェクト」は特色GPに採択される前の平成8年度から始まり、

すでに10年以上の歴史がある山口大学独自の取組みです。学生たちから各種の企画（調査研究・国際交流・ソフト開発・コンテスト参加など）を募り、大学が経費面での支援を行い、多様な正課外活動を促すことによって学生たちの自主性・創造性を高めるための取組みです。

これが特色GPに採択されたのを機に設置されたのが学生自主活動ルームです。ここではボランティア活動に対する地域社会からの要望と学生からの要望をマッチングさせることによって、学生たちの活動を支援しています。ボランティア活動の実施によって学生たちは、正課内授業だけでは得られない体験をし人的交流と視野を広め、一段と人間として大きく成長していきます。

正課内授業として1年次学生に開講している授業「地域と出会う—ボランティアと自主活動—」では、ボランティア活動の一般論を講義するとともに、実地にボランティア活動も体験させ、学生の社会人基礎力の養成を支援しています。



寮生主催行事・七夕祭

経済面での支援

日本学生支援機構の奨学金をはじめとして、各種団体の奨学金に関する情報の提供や申請の受付を行っています。

授業料の減免は家計の困窮に対するものだけではなくて、成績優秀な学生に対して授業料を減免する特別待遇学生（特待生）の制度もあります。入学料については減免だけではなくて、数ヶ月程度の徴収猶予の制度もあります。

また生協と連携してアルバイトや学生アパートの紹介も行っています。



学生支援課カウンター前の学生たち

就職支援

就職支援室を設置し、7人の教職員が学生たちの就職を支援しています。就職活動期における情報提供や面談による指導はもちろんのこと、低学年次から明確な職業意識をもたせ、進路決定への意見や自己確認・自己分析によよぶ就職力を身につけさせるための授業も行っています（1年次学生に対する「キャリアデザイン」、2、3年次学生に対する「キャリアと就

職」および「キャリア形成とコミュニケーション」）。また学外の関係機関とも連携して、業界・企業研究会、就職講演会、公務員試験対策講座、就職支援セミナーなどを企画し開催しています。

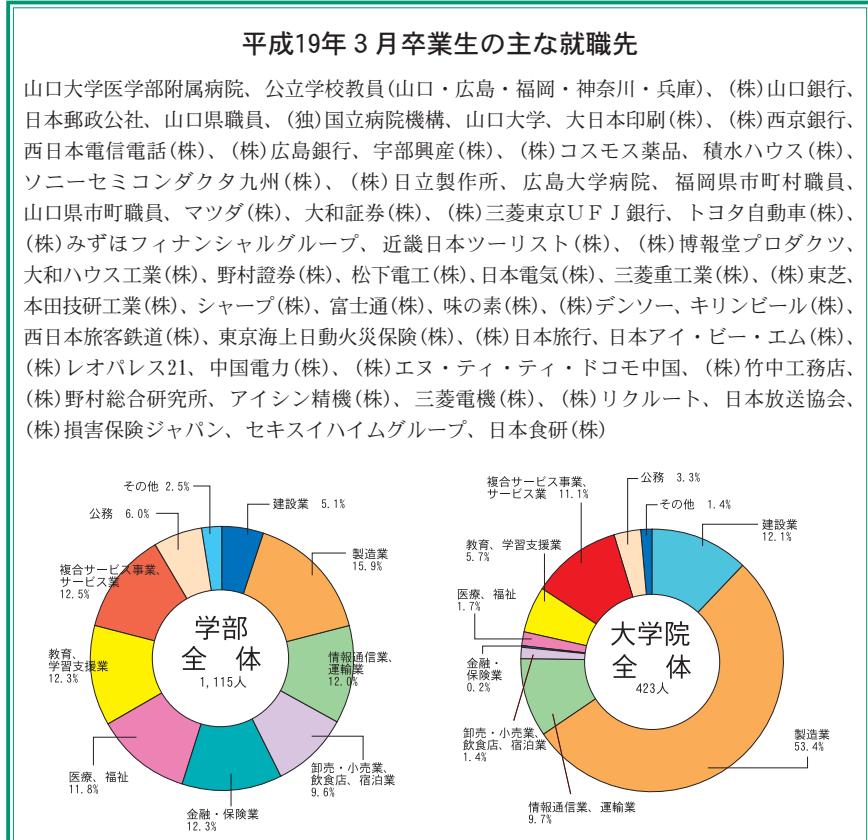
このように学生支援センターと学生支援課では多方面から学生たちを応援しています。「おふくろ」のような温かい眼差しをもって学生たちに接し、またときには「おやじ」のような厳しさをもって臨み、学生たちが安心して充実した学生生活を送り、確かな満足感とともに卒業し就職（あるいは進学）していくことを願っています。



公務員講座開講式



「キャリアと就職」の授業



学内連絡先

TEL : 083-933-5057 (センター長室)
083-933-5148 (学生支援課長)
E-mail : komiya@yamaguchi-u.ac.jp
ga116@yamaguchi-u.ac.jp

「学ぶ楽しさ」を知って



言語文化学科

じきば 3年
食場 秀美

「平安文学を学びたい！」私が人文学部言語文化学科を選択したのは、それだけの理由です。高校で平安文学の面白さに目覚めたものの、高校の授業のみでは満足できず、さらに深く古典を究めたいと思い山口大学

に入学しました。今はひたすら伊勢物語や源氏物語を研究する日々を送っています。私が所属する日本語文化論コース(日本語学・日本文学コース)には、語学と文学の二つの系統があり、自分が専攻する分野だけでなく、方言や近世の江戸文学など様々な分野の授業を受けることができます。

高校と大学はどう違うのかとよく聞かれますが、最大の違いを一言で

学生生活

言うと、高校は「暗記」で大学は「思考」、つまり考えることが中心になってくるということです。自ら問題を見つけ、解決していくのが大学での研究であり、特に人文学部ではその傾向が顕著です。

本気で何かをしたいという熱意があれば、おのずと行動は伴つてくるものです。山口大学が、あなたの夢を育む場となることを願っています。

私の授業

私の授業～考古学実習～



人文社会学科

教授

中村 友博

私は人文学部で考古学実習を担当しています。考古学の関連科目でこれほど大事な授業はありません。というのは、専門の授業でも講義などは自分で調べれば内容が分かるのですが、考古学の実技は本や教室では学べないからです。

重たい測量機材や写真機をどうやって運ぶのか、距離をどうして計るのか、線を描くときに鉛筆ではどうす

る、墨ではどう描くのか、みんな学生が知らないことばかりを注意しながら教えています。それぞれに理屈があって、実際の調査現場ではすぐ役に立つ内容です。

なかでもとくに注意するのは、姿勢です。姿勢がいいとか、わるいとかではなく、この状況の時には、この位置に行くとか、手と足をどう使うといったことです。しかも作業は集団ですから、かけ声も必要です。丁寧な話よりも簡単に要を得た発声で仕事の能率は上がります。

そもそもルールブックからスポーツが出来るようになるってことはあ

りませんね。多くの人は本や展示品から考古学に興味をもちますが、実際に考古学を学ぶことは、スポーツ同様、体で覚えるものなのです。



考古学の実習風景

私の研究

「文章一小技」なれど……

言語文化学科

教授

根ヶ山 徹

二十数年来、明清の演劇を読み、その展開を有機的にとらえようととめてきました。今や中国文学は、残念なことに、カビ臭くて野暮ったいと敬遠されがちですが、かつての日本人がもっとも親しんできた外国の文学です。たとえば、平安貴族が白楽天の詩を読み、江戸時代に中国から数多くの書物が輸入されたよう

に。一字一句にまで磨きをかけられた作品を、当時の価値観にそって読み解いてゆくと、これまで常識となっていた文学史の記述が、ゆらいでくることも珍しくありません。詩文、そして演劇・小説といったジャンルを問わず、知的好奇心をかきたててくれる豊穣な世界に魅了されつづけています。

あわせて、この数年は、唐宋の詩文が、五山の禅僧たちに、なぜ、どのように学ばれたかについても興味をいだいています。これに関連して、昨年、毛利元就の菩提寺である洞春

寺に秘蔵されている、北宋の黄庭堅詩の注釈書『山谷詩抄』を影印出版しました。



台湾中央研究院「湯顯祖与牡丹亭国际学术研討会」にて

充実した学生生活から 見えてきた将来の方向



学校教育教員養成課程
国際理解教育コース 4年
田坂 真衣

私は、国際理解教育コースに所属しています。

「国際理解って何を勉強するところなの？」とよく聞かれます。私たちは、総合的な学習の時間における

国際理解教育と、英語会話の時間を担当できる教員を目指し、人権・異文化理解・国際協力等についての専門的な知識を学んでいます。

最も印象深いのが、異文化体験実習という授業です。先生や他の学生と、マレーシア・オーストリア・ウクライナ等の計5カ国を、17日間かけてまわりました。歴史的建造物や名所を訪れ、多くの人々と出会い、ウクライナでは現地の家庭でホームス

学生生活

ティもしました。異文化理解とは何かを肌で感じ取ることができ、とても貴重な経験になりました。このような実践的学びも、魅力の一つです。

入学当初は英語に関する職業に就きたいと漠然と思っていましたが、本コースで学んだことで、将来の目標が定まりました。

残り少ない大学生活を大切に、目標達成に向けて勉学に励んでいこうと思います。

協力してどんな学び作りますか？



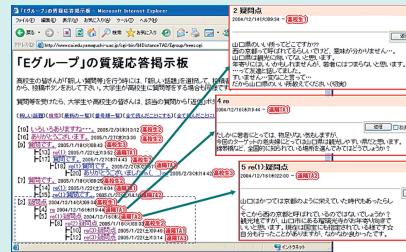
附属教育実践総合センター
准教授
鷹岡 亮

さて問題です。「皆さん山口大生です。東京の高校生グループがある課題を解いています。その課題にはいくつもの解が考えられ、解き方の良さも考えなければなりません。皆さんは何人かでグループを組んで高校生を支援します。ただし、皆さんが東京へ行くことはできないので、電子掲示板を利用して高校生グループの学びを支援します。さて、皆さんはこの電子掲示板を利用して高校生にどのような学びを作つてあげま

すか？」

高校教科「情報」の教員免許取得のために必要な授業「情報科教育法」では、防府市の誠英高校と連携して、教科「情報」で取り組んでいる課題を大学から電子掲示板などをを利用して支援する取組みも行っています。遠くから支援するので遠隔TA(Teaching Assistant)と呼んでいます。この取組みでは、「高校生からの質問に複数の遠隔TAが答えたり」、「わざと間違つて別の遠隔TAがそこにツッコンで高校生も一緒に解を見つけたり」と、複数の遠隔TAが協力して高校生に効果的な学びをどうやって作るかを考えています。こんな授業も教育学部にあるんですよ。

私の授業



大学生と高校生間の質疑応答掲示板



高校生の発表会をテレビ電話で聴講する受講生（遠隔TA）

大きく育て、クリスタル！



学校教育教員養成課程
理科教育選修 教授
和泉 研二

私が結晶の面白さにあったのは、大学2年のとき。精妙な結晶成長のメカニズムを授業で聞いたのがきっかけでした。以来、結晶の成長メカニズムや構造に関する研究を行っています。最先端の科学では、電子材料からタンパク質に至るまで、大きく良質な結晶をつくる必要性が増

し、様々な分野で結晶成長に関する研究が行われています。私自身はこの数年、インシュリンを用いたタンパク質の結晶成長メカニズムを研究しています。結晶成長に及ぼす重力の効果を調べるため、時には落下するジェット機中にできる微小重力環境下での実験も行ってきました。

何かと理科嫌いが話題となる昨今、結晶のでき方という観察・実験を通して理科の本質的な面白さを子供たちに伝えることができたらと思っています。結晶も人も、大きく成長す

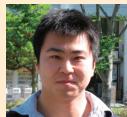
私の研究

るのを見るのは楽しいものです。高校生の皆さん、教育学部で大きく成長し、将来先生となって子供たちを大きく成長させてみませんか。



航空機利用微小重力実験前の筆者。上空1万メートル付近から急降下し、約20秒間の微小重力状態を得る。

職業会計人コースとは



経営学科

職業会計人コース 3年
三宅 洋平

私は、入学前、進路で迷っていた頃、山口大学経済学部経営学科職業会計人コースのことをパンフレットで知り、また、母親の助言もあり、山口大学の受験を決めました。

職業会計人コースには、公認会計士を目指すコース（会計）と税理士を目指すコース（税務）があります。両コースともに言えることは、精神的にも肉体的にもタフでなければやつていけないということです。通常、大学生で会計士や税理士などの国家資格取得を目指す人は、大学の講義を受けながら専門学校に通うダブルスクールをしなければなりません。

学生生活

その点職業会計人コースは、資格取得の勉強が直接大学の単位認定につながるところがあるので、効率の良い勉強ができるのが最大の利点です。また、山口は静かな町なので、勉強に集中するのに最適だと思います。

大学で何か一つのことについて打ち込みたいと思っている人、公認会計士や税理士に興味のある人は職業会計人コースに入ることをおすすめします。

実践的な経営のノウハウを



経営学科

講師

藤田 智丈

私が担当している授業は、経営学科の管理会計です。経営学科では、経営管理や流通・会計など、企業をとりまく様々な課題について学習します。その中で私が担当しているの

は、予算管理や利益計画、コスト管理といったお金に関わる問題です。企業には利益という目標がありますが、どうすればその目標を実現することができるのでしょうか。これは、家計が家を買ったり子育てをしたりするために、どうすればその目標に到達できるのかを考え、日々の節約を心がけたりお金を貯めたりしていることに似ています。

私の授業

また、経営学科には公認会計士や税理士、簿記検定といった資格試験を目指す職業会計人コースがあります。管理会計は公認会計士の試験科目であり、簿記検定1級の原価計算に関する内容もあります。そのため、このような資格試験を目指す人にとっても、基本的な考え方をしっかりと身につけることができるような場にしてもらいたいと思っています。

観光に科学の眼を



観光政策学科

教授

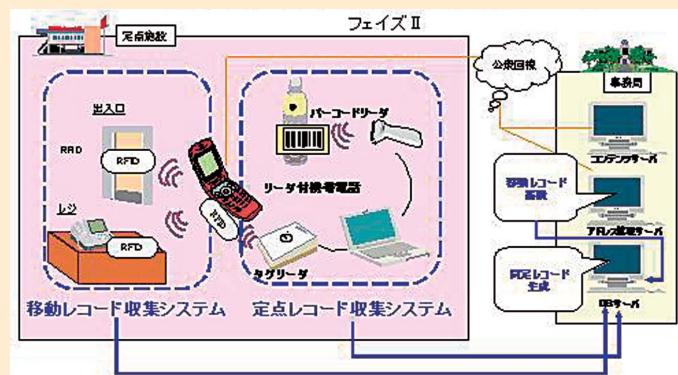
篠原 淳

観光に関する研究は、他の研究分野に比べてまだまだ未開拓の部分が大きな領域ではないかと思います。それは、科学的に考察していくために必要な客観的数据が他の分野に比べて大いに不足しているためだと思われます。

現在取り組んでいる研究は、そうした研究に必要な観光データを如何に正確にそしてできる限り詳細に抽出するか。そしてそれを日本のお得意のIT技術を用いて行う仕組みを作ることにあります。しかしながら、

これは単純にその仕組みの検討に止まりません。実際の研究活動を行うフィールドがある以上、そこでの関係者の利害関係の調整を図りながらの実証実験を伴うわけで、実験というプロジェクトを如何にマネジメン

トすべきかといった研究までも含まれるわけです。山大生にもこうした実験に大いに参加してもらって研究の面白さや大変さを肌で感じてもらえればと思います。我と思わん方は是非、観光政策学科へ。



実験システムの全体イメージ

学生生活

情報コースで学んだこと

自然情報科学科
情報コース 4年
石丸 景子

私は生物学が好きで、大学でも生物学を学びたいと思いました。そして、物理学や情報科学も学ぶことができ、幅広い知識を身につけることができる自然情報科学科に入学しました。この学科では、高校で勉強し

ていなかった物理学やプログラミング言語なども基礎から学び、いくつかの専門科目を勉強した後に、コースを選ぶことができます。プログラミングでは自分で作成したプログラムが、思い通りに動いてくれたときは嬉しくなりました。そこで、もっとプログラミングを学びたいと思い、情報コースを選択しました。

情報コースの実習では、ニューラルネットワークを用いてパズル問題

を解くプログラムや、ノイズを取り除く画像処理のプログラムを作成しました。さらに、ニューラルネットワークに興味を持ち、現在は歩行モデルの計算機シミュレーションの研究を行っています。

この学科で幅広い知識を身につけ、研究したいことを見つけることができました。

私の授業

数学を理解すること



大学院理工学研究科
数理科学専攻（理学部 数理科学科）
教授

内藤 博夫

私の授業は、1年次の「微分積分」「複素数」と2年次の「集合・位相」です。「微分積分」では、実数の連続性を基に微分積分を理論的に再構築し、高校で学習した内容がその中でどのような位置づけにあるかを考

えます。「複素数」では、複素数の基礎を学ぶと共に、実数の世界での仕組みが複素数の立場からどのように見えるかを学びます。また、「集合・位相」では、現代数学の理解に欠かせない、理論の抽象化の仕組みを学びます。

授業の共通目標は、計算や問題解決などの技術を学ぶだけではなく、それらの背後にある“数学のしくみ”というべき事象の本質を、学生自身

が理解し人に伝える力を身に付けることです。そのために、授業では毎回宿題が課され、それをTA（第三者）が添削評価します。講義のコピーではなく、自分自身の論理思考で数学のしくみを建設する作業です。単に覚えた知識は忘れますが、作り上げた「しくみ」は様々な場面で活用できるものです。

理学部

私の研究

地下に眠る金鉱脈を探して



大学院理工学研究科
自然科学基盤系専攻
(理学部 地球圏システム科学科)
准教授

澤井 長雄

鹿児島県にある菱刈鉱山を知っているでしょうか？菱刈鉱山は1981年に発見された金量が260トン（佐渡金山の3倍）と推定される日本最大の金山です。さらに、鉱石1トンに含まれる金の含有量は70グラムです。わずか70グラムと思われるでしょうが、これは世界一の品位です。菱刈鉱山は地表調査では探すことができない地下100メートルほどにあるのをボーリングで地下を探すことにより発見されました。

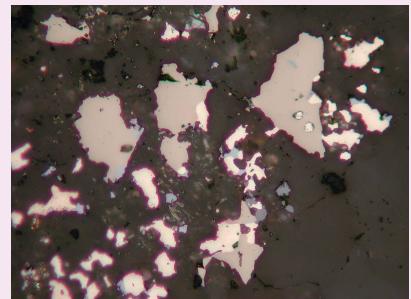
日本はかつては多くの金を産出していましたが、狭い国内を古くから探されており、もはや新しい金山は発見されないと考えられていました。しかし、菱刈鉱山の発見は、地下に有望な金鉱脈が存在することを明らかにしました。さらに、菱刈鉱山は



菱刈鉱山の坑内で金鉱脈（白色の部分）を調査中

火山や温泉と関係して形成されたことも明らかになりました。

日本には多くの火山や温泉があるので、地下のどこかに金鉱脈があるはずです。それを見つける方法を確立して、地下に眠る金鉱脈を発見しようと研究しています。



金鉱石の反射顕微鏡写真（明るい黄色が金）。写真の横幅が0.7mm

学生生活

医学部ってどんなところ？



医学科

4年

山本 常則

皆さんは医学部に対してどんなイメージを持っていますか？まじめ？遊んでる？

医学部生は卒業と同時に医師になるので、やはり勉強に関しては高いレベルを要求されます。毎週の試験などはとてもハードですが、志を同じにする仲間と励ましあいながら乗

り越えています。また勉強が大変な分、自由な時間遊びや部活など思いっきり楽しむようにもしています。

遊びにも全力、勉強にも全力。医学部ってそんなところだと思います。

医学部とは・・・

保健学科 看護学専攻

3年

基 幸乃

医学部という言葉を聞いて「医者」を想像する方が多いでしょうが私の

所属する保健学科には、看護学専攻と検査技術科学専攻の2つがあり、看護学専攻では将来看護師や保健師、または助産師を目指す学生が日々勉学に励んでいます。

3年・4年時には病院実習も重なりますが、1年時は本学でごく自由な時間があります。

1年時の自由な時間をどのように使うかは人それぞれだと思います。みなさんもオリジナルな時間を山大で過ごしてみませんか？

私の授業

人体の“なりたち”と“しくみ”

大学院医学系研究科
システム統御医学系専攻
(医学部 医学科) 教授

大和田 祐二

人体の“なりたち”と“しくみ”を、正確に理解することは大変なことです。50兆個ともいわれる細胞から造られる私たちの体の中には、本当に様々な形や変化が潜んでいるからです。

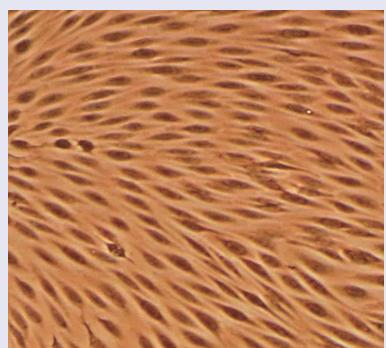
私が主に担当する解剖学と組織学は、正常な体の“なりたち”と“しくみ”を説明する講義です。医学生は、病気を勉強するまえに、まず正常な人体の中が持つ様々な臓器や細胞の形や変化を、理解しなければなりません。これを理解しなければ、異常な形や変化を示す病気を、知ることができないからです。ところが、これがなかなか厄介なのです。目に見えるものから、高性能顕微鏡

を使わないと見えてこないものまでを正確に覚えた上で、さらに顕微鏡を使っても見えない小さな分子の働きをも合わせると、学ぶべき情報量はとても膨大なものになるからです。

“学問に王道なし”と言いますが、どうしたらこの膨大な情報を、学生に効率良く教えることができるかを、考え続ける毎日です。

私の研究

取り組んでいます。神経系疾患が一般臓器の疾患と同じレベルで治療ができることが最終目標です。



血管内皮細胞

脳の病気を治す

大学院医学系研究科
システム統御医学系専攻
(医学部 医学科) 教授

神田 隆

神経内科は脳・脊髄・末梢神経・筋肉の内科的疾患を扱う診療科です。脳機能の解明は21世紀最大の課題であり、世界中の多数の研究者がニューロサイエンスに参集して華々しい成果をあげていますが、残念ながら治療面では脳・末梢神経疾患は遅れをとっています。

中枢神経は血液脳関門 (BBB)、

末梢神経系は血液神経関門 (BNB) というバリアーシステムで守られており、全身の炎症や有害物質などが脳や末梢神経に入り込まないという点では有利ですが、中枢神経・末梢神経へ有効な薬を運ぼうというときには大きな壁となってしまいます。私たちは、このBBB/BNBを構成する血管内皮細胞を人為的に操作することで、神経疾患を防御しうる物質を神経系へ送り込む、あるいは、毒性物質を神経系から強制的に排除させる方法を確立することで、画期的な神経疾患治療法を開発する研究に

4年間の大学生活



知能情報工学科

4年

龍崎 雅典

大学生活は将来へ向けての準備期間だと思います。なので4年間で様々な事をしてみると良いと思います。

私は毎年、目標を持って行動しました。1年目は社会勉強としてアルバイトを、2年目は学力やマナーを身に付ける為に基本情報技術者の資格や秘書検定の取得、3年目は知識を身に付ける為により多くの講義を

受講し、4年目は研究に専念しました。

山口大学では、大学の講義以外にも自由になる時間があります。そういった時間を利用して様々な事に挑戦し、自身の新たな一面や可能性を発見できる場所、それが山口大学だと思います。講義では社会に対応できる知識は充分に身に付きます。私の場合はこれに加え、自由な時間を利用した社会勉強や資格が、就職面接の場において、経験・自信となり、目標だった就職先に就職できることとなりました。

学生生活

みなさんも山口大学で学業に励みつつ、自身の新たな発見を、そして夢を実現するために頑張ってみてはいかがでしょうか？



研究室での研究の様子

私の授業



大学院理工学研究科
情報・デザイン工学系専攻
(工学部 知能情報工学科)
教授

山鹿 光弘

私は、日本のコンピュータの開発の歴史と共にその開発に従事してきたとほぼ言えるでしょう。辛いことも沢山経験しましたが、振り返ってみると本当に幸せな経験でした。出来れば、その経験を今の学生たちにも経験させてやりたいと願って授業に当たっています。幸いなことに、私は2年生の後期から、3期連続で

必須科目を担当する事ができ、コンピュータ教育のチャンスを得ました。

ただ部分的な基礎知識を詰め込む学習方法でなく、先ず、こんな物を設計しようとテーマを与え、興味をわかせます。そのテーマを基に設計作業の手順を自ら考えさせ、その結果として、必要な知識を学習し、その知識を応用して演習をするという方法を探っています。具体例として、写真に示すような市販のロボットアームを動かして見せます。この段階ではこのアームはスイッチとモーターのおもちゃに過ぎませんが、これを

私の授業

リモートコントロール可とするために、通信手段やデジタル回路を学生に考えさせながら設計方法を教えています。



ロボットアーム

メタマテリアルが創る新しい世界 —左手系媒質、透明マントの可能性—



大学院理工学研究科
物質工学系専攻
(工学部 工学基礎教育)
准教授

真田 篤志

物質が原子や分子からできていることは18世紀ごろから知られていたようです。もし、原子の配置を自由に組み替えることができれば、自然にはない全く新しい物質を作ることができるように思えます。しかし、残念ながら現在の技術を持ってしても原子

レベルの物質の自由な操作は未だ実現されていません。

ところが、21世紀になって、米国の物理学者スミスは、我々が操作できる程度の十分大きい物質の塊を原子分子に見立てて、その形状や配置をうまく決めてことで、想像もできない性質を持つ人工的な媒質が構成できる可能性を示したのです。このような人工媒質は「メタマテリアル」と呼ばれています。

その後、世界中の研究者によりメタマテリアルの開発が進められ、現

私の研究

在では、例えば、屈折率が負となる「左手系媒質」や、かぶせると目に見えなくなってしまう「透明マント」など、自然にはない媒質の構成法が提案されています。私の研究室からは、新たな動作原理により超広帯域化と極低損失化を図った左手系媒質が提案され、その負屈折率特性の実証実験にも成功しています。これらの新媒質の実用化にはまだいくつかハードルがありますが、将来、透明マントのような夢のような新物質が実現される日が来るかもしれません。

私がこの学科を選んだ理由

生物機能科学科

4年

大楽 千里

私がこの生物機能科学科を選択した理由は、農学という幅広い分野を約50人という比較的少人数で学ぶことができ、それに見合う技術を習得することが出来たと思ったからです。

私は高校時代、「生物学」を学ぶことが出来ませんでした。よって自分の得意とする「化学」を生かしつつ、「生物学」という学問を一から学びたいと考え、この学科を選択しました。

農学部は忙しく、学生生活を楽しむ余裕がないと考えている人も少なくないと思いますが、私の周囲にはとても充実した生活を送っている人が大勢います。私自身、吹奏楽部に所属し、アルバイトにも力を入れて



ただいま実験中

学生生活

いました。その活動を通して、学部学科の枠を超えた友人ができ、沢山の思い出ができたことは、私の中で大きな財産となっています。

自分のやりたいことを見つめて、後悔しない選択をして下さい。



研究室から見える農学部棟

私の授業

獣医学科

准教授

本道 栄一

私は「獣医組織学」という講義を担当しています。獣医とありますから動物を扱います。動物の体は細胞という小さな単位で出来ています。ひとつの動物でも、細胞にはたくさんの種類がありますが、同じ種類の細胞が寄り集まって「組織」というものを作ります。その「組織」の組み合わせによって、肝臓や腎臓など

の臓器が出来上がります。この「組織」について勉強するのが組織学です。

臓器の組み立てを勉強するというと、視点は体の中に向いています。しかし、動物は毎日の生活の中で常に体外の微生物と戦っており、その過程で、動物が微生物の遺伝情報を取り込んで利用し、新たな「組織」を作り上げることもあります。従って、この講義では視点を体の内部に向けるだけでなく、臓器が出来上がってきた長い歴史についても勉強することになります。

私の授業

扱う領域は肉眼で区別できない小さな場所ですが、広い視野で動物を考える力を持つもらうことを目指しています。



硬骨魚類組織の採材？

ムシから学び、ヒトと環境に役立つ技術を創る



生物資源環境科学科

教授

小林 淳

地球上で最も種類が多い生物は何でしょう？バクテリアでしょうか？植物でしょうか？魚でしょうか？…正解は昆虫、つまりムシたちです。記載のある生物約160万種のうち、6割近い約95万種をムシが占めています。ムシたちは、人類よりもはる

か昔に地球上に登場し、強い生命力と優れた環境適応能力を獲得しながら氷河期や恐竜が絶滅するような天変地異を乗り越え、現在の繁栄を築いています。このようなムシたちが有するさまざまな優れた機能に魅せられた世界中の研究者たちは、子供たちがムシキングに夢中になるように、それらの機能解明と利用技術開発に熱中しています。

私も、学部生や大学院生と一緒に、ムシたちのさまざまな遺伝子の機能

を解明し、ワクチンなどの有用タンパク質生産や環境にやさしい害虫防除に役立てるための研究開発を行っています。小さなムシの研究から、ノーベル賞に値する大きな成果が出ることも夢ではないと思います。



ホタルの発光タンパク質(ルシフェラーゼ)を大量生産して全身が光り出したカイコ幼虫

私の研究

留学制度等について

留学には日本の学生が海外に留学する「派遣」と海外の学生が日本の大学等に留学する「受入」に大きく分くことができます。ここでは派遣について説明します。

本学では、中国の山東大学、アメリカのオクラホマ大学、ドイツのエアランゲン・ニュルンベルク大学など9カ国・地域20大学と大学間交流協定、12カ国・地域37大学・機関と学部間交流協定を結んでいます。この交流協定に基づいて本学の学生は協定校に1年以内の期間派遣する場合は休学することなく留学ができます。

協定校とは、授業料不徴収や単位互換を取り決めていますので、留学先大学へ授業料を納める必要はありませんし、留学先大学で履修した授業科目を本学で履修したものとして単位認定も可能です。

(担当：学務部国際課学生交流係

日本学生支援機構の短期留学推進制度や山口大学日中学术交流基金などの各種奨学金制度等を利用して毎年多くの学生が世界に羽ばたいて知見を広げています。

また、夏休みや春休みを利用して、約1ヶ月間の海外短期語学研修（英語、中国語、ハングル（韓国語））を実施しています。語学の習得だけでなく、一般家庭でのホームステイなどを通じて異文化理解を深め、国際感覚を養成する貴重な体験の場となっています。なお、海外語学研修は、事前研修を受講したうえで現地研修に参加しますと「海外語学研修（英語、中国語、ハングル（韓国語））」4単位が認定されます。

国際センター、国際課、各学部の担当教職員があなたの留学のお手伝いをします。

TEL : 083-933-5982 E-mail : ga142@yamaguchi-u.ac.jp)

海外へ

私はこの1年間で自分の持っている可能性をより多く見つけることが出来ました。一度広い世界へ出ると視野が広がることで今まで見えていたものが見えるようになります。これから留学をしようかなと考えている人、迷いがあるならなおさら外の世界へ出て、まだ見えない自分の可能性を見出して欲しいと思います。

エアランゲンでは毎年5月に約2週間にわたってビール祭りが開かれ、ビール好きの私は毎晩1リットルジョッキを片手に、友達や全く知らない地元のおじさんたちといろいろな話をし、ドイツという国を肌で感じていました。もちろん楽しい事ばかりではありません。しかしどんなにつらくともそれを乗り越えるほどの楽しさや貴重な経験が1年間の留学には詰まっています。



ビール祭り（前列右から2人目が筆者）



エアランゲンのクリスマスマーケット



帰国前のお別れパーティー

山口へ

できました。みんな違う環境で育つてきましたが、暖かい気持ちを持っており、どこの国から来ている人とも話しかけて助け合うことができました。どこにもない経験だろうと思います。これからも山口大学の観光政策学科で習ったことを役立てながら頑張りたいと思います。皆さんも将来の夢の実現に向けて頑張って下さい。

く、また、世界各地からの留学生への窓口を開いていることもあります。私は山口大学を受験しました。最初山口に来た時、山口は自然が多くて、ラオスに似ていると感じました。列車に乗って、隣のおばあさんが声をかけて会話をしてくれて、うれしかったです。

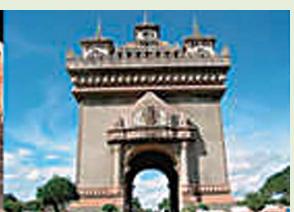
留学することにより、いろんな国の外国人や日本人の友達もたくさん



少年僧



寺院にある「鳥の王様」



ビエンチャン市内を一望できる「凱旋門」

ドイツ留学体験記



教育学部 総合文化教育課程

国際文化コース 4年

大石 真嵩

私は2006年2月から2007年2月まで約1年間、ドイツのエアランゲン・ニュルンベルク大学で勉強してきました。今思えばこの1年間は本当に夢のような時間でした。緑の茂った公園の中をお年寄りが散歩をし、その傍らにおいてあるベンチでは若者が本を読み、芝生の上では子どもたちがサッカーをする、そのような映画のような日常が実際にひろがっていました。

楽しいイベントもたくさんです。

将来の夢に向けて



経済学部 観光政策学科

3年次編入生

パンタミサイ スダリー

私は3年前にラオスからの留学生として、日本にきました。大阪の日本語学校で1年間、旅行専門学校で2年間勉強し、今年の4月、観光の勉強をするために、山口大学の経済学部観光政策学科3年次へ編入しました。

私の夢は自分の国のことを探ることです。数年前にラオス国立大学に新しい観光学科ができましたが、教師や研究者がまだ少ないし、またもっと自分の世界を広げたいと思いました。山口は国際交流の歴史も古

“祭”を背負う者



七夕祭実行委員会 実行委員長

農学部 3年

久富 隼人

七夕祭

山口大学には毎年7月に七夕祭という祭りがあります。七夕祭は山口大学にある寮、吉田寮（男子寮）と樋野寮（女子寮）の合同による寮生主催の寮祭です。実行委員の多くは1年生で、それをまとめる2年生、3年生がいます。これがなかなかのビッグイベントで、当日は多くのサークルが模擬店を出店し、ステージでもbingoやステージ企画、また実行委員長を乗せたみこしが会場内を1周回ったりと様々な催し物があり、山大生はもちろんのこと、一般のお

客さんも2～3万人近く来場されます。

はっぴ

入学シーズンから七夕祭当日までの期間、学校内（学校外でも）では“祭”的字が背中にプリントされたはっぴを着ている人を見かけることができます。彼らこそが、何を隠そう七夕祭実行委員です。実行委員は、七夕祭の宣伝のために毎日はっぴを着て生活をします。最初多くの1年生は恥ずかしがりますが、慣れてくるとはっぴがないと落ち着かなくなっています。

仕事

七夕祭実行委員会には、衛生部・会計部・企画部・情報宣伝部・電源

七夕祭

部・備品部の6部署があり、七夕祭の運営は6部署が各自の仕事をすることで行われます。1年生はこの6部署に別れ、先輩から仕事を教えてもらい、当日までの間、七夕祭の成功に向けて実行委員一同一丸となって頑張っています。実行委員は当日も仕事が多く、七夕祭を楽しむ暇はありません。しかし、来場されたお客様が笑顔でいてくれたら、実行委員をやっていて本当に良かったと思います。



姫山祭

大学祭実行委員会 委員長

経済学部 2年

矢野 晶美

姫山祭とは

山口大学大学祭「姫山祭」は、毎年来場者5,000人を超える大規模な大学祭です。数々の企画を催し、年々盛り上がりを増している姫山祭は今年で58回目となります。

要チェックイベント！

姫山祭に欠かせないイベントとしてはお笑い芸人による「無料お笑いライブ」です。人気お笑い芸人が無料で見られるということで毎年大変好評です。過去には「大木こだまひびき」や「中川家」、「FUJIWARA」などが来ました。今年は誰が来るのか楽しみにしていて下さい。

その他のイベント

他にも会場内では「スポーツ大会」や「焼き出し」、「フリーマーケット」、「模擬店」などがあります。ステージでは「ミス・ミスターコンテスト」や自分の名前を使用して行う「MY NAME IS BINGO」という企画など、今年も様々な企画を予定しています。去年はお笑い芸人による「無料お笑いライブ」の他にアーティストによる無料のライブ「アーティスティックライブ “FLASH”」を行いました。これにはYOU THE ROCKなどのアーティストが来ました。

最後に

今、私たち大学祭実行委員会はよりよい姫山祭になるように、活動を行っています。来場者が楽しめる学園祭になるよう準備を進めていきたいと思います。昨年の姫山祭の様子

姫山祭

などは大学祭実行委員会のHPに載せておりますので、興味のある方はぜひご覧下さい。

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~jitsui/>

開催日

日 時：2007年11月3日（土）
12:00～20:30（予定）
(雨天決行)

場 所：山口大学吉田キャンパス
テーマ：過去の軌跡 未来の奇跡



昨年の姫山祭の様子



活動風景

男子寮

大学における寮生活



吉田寮自治会代表 総務部長

農学部 3年

久富 隼人

吉田寮

吉田寮に住んでいて感じること、それは自由。「これこそが大学の寮のあるべき姿だ。」と思うほど自由な場所です。あまり細々とした規則もなく、門限もない。個人個人が共同生活を行う上で最低限のマナーを守っていれば、それ以上何も言われません。大学生活を明るく楽しく過ごすうえでこれほど最高な環境はなかなかありません。

自治寮

吉田寮は自治寮であり、寮の仕事、電話当番や風呂掃除は当番制で全寮生が行います。また、寮がより良く

なるように、毎年2回行われる寮生大会で寮生みんなが話し合い、寮の運営は寮生の有志による総務部により行われます。そのため、寮生がより住みやすいように日々改善されています。

人間関係

四畳半に2人で住む。最初聞いたときは誰もが狭いと突っ込みたくなるかもしれません。しかし、なかなかどうして住んでみると案外そうでもありません。大学にはいろいろな地域から様々な人間が来ます。吉田寮も同じで、寮生にはいろいろな人間があります。最初は相方さんや他の部屋の寮生と仲良くなるのに戸惑うかもしれません、同じ場所に住み、一緒にお風呂に入りに行ったりしているうちに、いつの間にか昔からの友達のような感じになったり、四畳

半の部屋に5~7人ぐらいで集まって騒いだりすることも珍しくありません。

また、横の繋がりだけではなく、縦の繋がりも持てることが吉田寮のいいところだと思います。先輩に授業や単位・テストのことを尋ねることもごく自然な光景です。吉田寮は他の一人暮らしをしている大学生よりも、大学生活をより色濃いものにしてくれると思います。



吉田寮外観

寮生活

女子寮

ふしの寮での生活



楢野寮総務部寮長

理学部 3年

橋本 裕梨

ふしの寮は…

ふしの寮は山口大学の正門から見ると奥の方、理学部・人文学部のそばにあります。ふしの寮は原則として二人部屋で、お風呂やトイレなどは共同で使用します。その他にも補食室と呼ばれる台所のような部屋もあります。

集団生活であること

このように二人部屋であることや、設備のほとんど全てを共同で使用することを考えると、やはり常に「周

りに人がいる、次は他の人が使用する」ことを意識する必要があります。夜になれば寝る人もいれば、学生ですから勉強したい人もいます。設備を使用して汚してしまっても次に使用する人がいます。そんなとき、自分はどのような行動をとるべきか。考えて、実行しなければなりません。

実際に生活してみて

私が寮で生活して良かったと感じることは、いつでも頼れる友人がいること、そして集団生活を通して自主性を養えたと思えることです。落ち込んだり、体調を崩して動けなくなったりしたときにすぐに助けてくれる人がいること、そして周りのことを考えて行動することが出来るようになっ

たことは、やはり寮ならではの良さだと思います。その他にも栄養士さんが管理してくださっている食事があることや、校内ですので通学が楽であることも大きなメリットです。少々我慢が必要な面もありますが、総合的に見て自分にとってプラスの経験となったと思います。



楢野寮外観

体育会剣道部

剣道部 元主将

経済学部 4年

橋本 和人

私たち剣道部は、全日本出場に向け日々練習に取り組んでいます。練習は週6日行っており、時間は平均して1時間半～2時間程度です。

大学での部活のイメージとして、高校までのような厳しい練習ではなく、皆仲良く和やかなものを浮かべると思います。剣道部も新歓コンペや卒コン、また他大学との交流戦等もあり、楽しい場面はたくさんあります。剣道部には師範・監督の先生もいますが、先生中心ではなく学生主体で練習するので、比較的自由にできます。

しかし、自由だからこそ厳しさもあるかと思います。文頭に書きましたが、私たちは全日本出場を目指して日々努力しています。確かに高校までの部活と比べれば時間的にも足りないし、練習内容もおのずと限られてきます。何より学生主体なので、自分たち次第で良くも悪くもあるのです。部全体の目標、そして自身で決めた目標を達成しようとする強い気持ちがないと悪くなる一方です。それに自由であるとは述べましたが、ある程度の規律はあります。しかし、それは日常生活をしていく上では当たり前のことばかりです。

最後に高校生のみなさんに山口大学に入学したら是非サークル・部活に入ってほしいと思います。友達もできますし、私たち剣道部も部員の

剣道部

仲が良く、雰囲気もとても良いです。皆さんもたくさんの友人を作つて学生生活を充実したものにして下さい。



練習中の筆者

日常＝演劇

演劇部 部長

教育学部 3年

花本 悠貴

私は今、演劇部に所属しています。演劇部とは文字通り演劇活動を行っている団体です。皆さんは演劇って何だと思いますか？大きなステージに立ってお客様の前に立って演技をする。もちろんこれは演劇です。でも、演劇ってそれだけじゃないんです。皆さんも人によって話し方が変わったり、そのときの気持ちによって、言葉の言い方が違ったりしますよね。それも実は演技をしているということになるんです。自分で無意識的にやっている日常の行動を舞台に合わせてコントロールする、それが演劇をするってことで、そう考え

ると、演劇ってとても身近なものにみえてきます。でも、それをコントロールするっていうのが、実は一番難しい。いつもはできているはずなのに、舞台ということを意識してしまうと、日常は非日常に変わり、何気ない会話も不自然なものに変わってしまいます。そう考えると、普段会話ができるってすごいことなんだということを実感します。

だから最近私は、表現力を高めていくために、様々な人と関わり、付き合っていくということで日常的な会話を多くしてヒントを得ています。確かに演劇を上達させるには、プロの演劇を見るのも大切です。プロの演劇は表現力・技術力ともに優れています。しかし、日常にも自然な演劇はあるふれている、これを活かさな

演劇部

い手はないと思います。身近な演劇に目を向けることによって、作ったものではない、ありのままの表現が伝わってくるのです。

私は今年で演劇を始めて6年になりますが、いまだに舞台上で自分を100%表現することはできません。何度も何度も挫折しそうになりながら続けている今。やっぱり自分は演劇が好きなんだなあって思います。



合宿で広島へ行った時の記念写真

考古学部

考古学部について



考古学部 部長
理学部 3年
鈴木 考明

考古学部は今年で創部25年になる、文化会で一番古い歴史あるサークルです。考古学だけにね。これまでに、我が部が作成した実測図が山口市史に掲載される、山口市内の遺跡の保存・継承を行うなど、地域文化に微力ではありますが貢献してきました。

現在、部員数は23人と少数ではあります、部員全員仲良く、日々の活動を行っています。

我が部は1年間を通して、巡視活動・巡査活動・実測活動・研究活動

を行っています。巡視活動は、山口盆地内の遺跡を巡り、遺跡の現状把握・保存することを目的としています。巡査活動は、山口県内外の遠方の遺跡に足を運び、地域による遺跡の形態・立地の差異を見学し、知識の向上や遺跡への理解を深めることを目的としています。実測活動は、遺跡の保存と資料化、全部員の実測技術の向上を目的としています。研究活動は、さまざまな分野を扱うことによって、部員の考古学・歴史学への知識・興味を高めることを目的としています。研究活動の成果は毎年『あけぼの』にまとめて配付しています。

また、ドライブやバーベキューな

ど部員間の交流を図るレクリエーションも行っています。

最後に…

私たちの身の回りには、気付いていないかもしれません、たくさんの遺跡があります。地域に目を向け、遺跡に触れてみてはいかがですか？



仁馬山古墳（下関市）での巡査活動

吹奏楽部

熱く響け!!山大サウンド!!



吹奏楽部 部長
理学部 3年
日高 亮子

サークル紹介

こんにちは！山口大学文化会吹奏楽部です。吹奏楽部は「楽器を吹いて優しい人になろう」をモットーに日々活動しています。創部15年目を迎えた今日では、部員170人を超える大所帯にまで成長しました。夏の吹奏楽コンクールや春の定期演奏会の他、老人ホームなど地域での訪問演奏や近隣の小中学校での楽器指導といった活動にも力を入れています。

サークルの魅力

サークルの魅力は何といったてこの部員の多さです!!中学・高校から吹奏楽を続けている人もいれば、大学から楽器を始めようと入部する人

もいます。部員の数だけ多様な音楽的価値観・個性がありますが、音楽を愛するという熱い思いは皆同じです!!お互いを理解し合いながら、ひとつの音楽を作り上げたときのすばらしさは何物にも変えがたいものがあります。

また、大学の部活は高校の頃とは違い、学生たち自身で運営し、管理していくかなければなりません。苦労が絶えることはありませんが、それでこそ大学のサークルの魅力もあると思います。

最後に

私はサークルに入って、本当に良かったと感じています。たくさんの仲間と共に汗を流し、意見を交換し合い、泣いたり笑ったりしていくことで自分を成長させることができたと思うからです。何か新しいことを始めてみたい、何かに打ち込んで

みたいと少しでも思うのであれば是非サークルに入ることをお勧めします！！

お知らせ

山口大学文化会吹奏楽部

第10回定期演奏会

2008年3月8日（土）

山口市民会館大ホールにて

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/7483/>



最新活動写真
(2007. 6. 17 五大学学生競技大会壮行式にて)

サークル

サークル紹介

本学には、学生の自主的な課外活動を行う団体として「体育会」、「文化会」、「大学祭実行委員会」の3団体があり、大学の公認団体として取り扱っています。それを構成するサークルとして体育会公認サークルが37サークル、文化会公認サークルが17サークルあり、学生自らの手で運営し、それぞれの目標に向かって、日々活発に活動しています。

また、小串地区（医学部）、常盤地区（工学部）においても、学生自治団体が組織されており、全学の体育会や文化会と一緒に活動しているサークルや、独自に活動しているサークルなどがあり、活発に活動しています。

[体育会] 体育会公認サークル

・アーチェリー部	・硬式庭球部	・水泳部	・バレーボール部(男子)
・合気道部	・硬式野球部	・スキーパーク	・ハンドボール部
・アイスホッケー部	・ゴルフ部	・ソフトテニス部	・ボート部
・アメリカンフットボール部	・サイクリング部	・卓球部	・ヨット部
・鷹援團	・サッカー部	・軟式野球部	・ラグビー部
・オリエンテーリング部	・山岳部	・馬術部	・陸上競技部
・空手道部	・自動車部	・バスケットボール部(女子)	・ワンダーフォーゲル部
・器械体操部	・柔道部	・バスケットボール部(男子)	
・弓道部	・準硬式野球部	・バドミントン部	
・剣道部	・少林寺拳法部	・バレーボール部(女子)	

[文化会] 文化会公認サークル

・E. S. S	・吟詠部	・写真部	・美術部	・ユースホステルクラブ
・映画倶楽部	・考古学部	・将棋部	・文芸部	
・演劇部	・混声合唱団	・吹奏楽部	・邦楽部	
・管弦楽団	・茶道部	・洞穴研究会	・マンドリンクラブ	

[医学部学生自治会] 医学部学友会所属サークル

体育会系

・剣道部	・水泳部	・スキーパーク	・ハンドボール部
・ソフトテニス	・空手道部	・バレーボール部(女子)	・サッカー部
・硬式庭球部	・バスケ部	・柔道部	・準硬式野球部
・山岳部	・卓球部	・バドミントン部	・少林寺拳法
・バレーボール部(男子)	・ラグビー部	・陸上部	・弓道部

文化会系

・国際医療研究会	・E. S. S	・医・工学部管弦楽団
・美術部	・カッタ君ネットクラブ	・軽音楽部

[工学部学友会] 工学部学友会所属サークル

体育会系

- ・P. M. A(フットサル)
- ・剣道部
- ・陸上競技部
- ・ダンス
- ・石原軍団（フットサル）
- ・ソフトテニス部
- ・平川水産（野球）
- ・少林寺拳法部
- ・ワンダーフォーゲル部
- ・アーチェリー
- ・ソフトボール部
- ・ビバグラップラーズ（格闘技）
- ・B4（フットサル）
- ・空手部
- ・準硬式野球部
- ・ゴルフ部
- ・ラグビー部
- ・硬式庭球部
- ・アメリカンフットボール部
- ・サイクリング部
- ・ポート部
- ・オリエンテーリング部
- ・器械体操部
- ・インパルス
- ・温泉たまご（軽運動）
- ・自動車部
- ・ハンドボール部
- ・柔道部
- ・水泳部
- ・ヨット部
- ・ママレードボーイズ（ソフトボール）
- ・NBC Scratch（夜間主バスケ）
- ・工学部バレーボール部
- ・ぎゃらん（フットサル）
- ・バトミントン部
- ・応援団
- ・将棋同好会
- ・合気道部
- ・JUNBO（フットサル）
- ・工学部サッカー部
- ・卓球部
- ・工学部バスケットボール
- ・SALVATORE（フットサル）

文化会系

- ・アマチュア無線部
- ・邦楽部
- ・マンドリング部
- ・軽音楽部
- ・エコファイターズ（エコ活動）
- ・ボードゲーム研究会
- ・写真部

[大学祭実行委員会]

吉田キャンパスの大学祭（姫山祭）および新入生歓迎フェスティバルは、山口大学大学祭実行委員会を中心に企画・運営され、姫山祭は、近年特に盛大になってきており、近郊から多くの市民の方々も足を運ばれています。

また、医学祭（医学部）、常盤祭（工学部）においても、それぞれ実行委員会が組織され、毎年盛大に開催されています。

[その他]

これらの他にも、本学では様々なサークルが活動をしています。山口大学に来られた際には、是非ご自分の足で探して、ご自分に合ったサークルを見つけてください。

きっと、充実した大学生活を送ることが出来ると思います!!



CAMPUS MAP 充実のキャンパスライフはここで始まる

吉田キャンパス

YOSHIDA CAMPUS

山口市にある吉田キャンパスは、5学部が集まるメインキャンパス。緑豊かでのびのびとした雰囲気と設備の整った研究施設で、理想的な教育環境が広がっています。



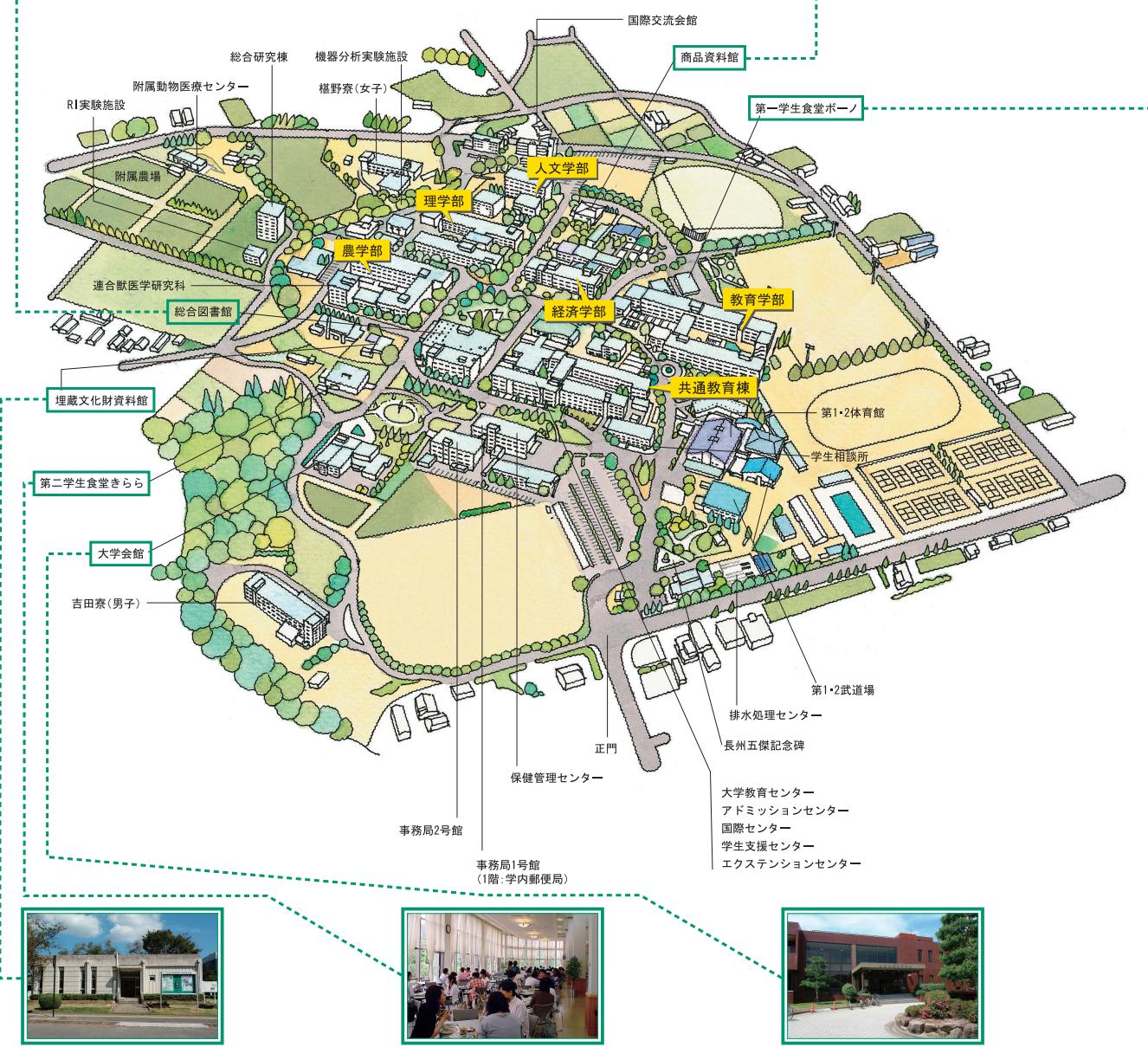
利用時間
平日/休業期 8:30~21:45 / 8:30~17:30
土日/休業期 11:45~18:45/閉館



経済学部が永年にわたって収集してきた主要な産業の商品や重要な貿易商品など、数々の貴重な商品資料を陳列しています。



営業時間（長期休業中は縮小営業）
月～金 8:00～20:00
土 10:00～14:00



開館時間

平日/土日 9:00~17:00/閉館

本学キャンパス等から出土した埋蔵文化財の収藏・展示と研究を行っています。



営業時間（長期休業中は縮小営業）

月～金 8:00～19:30



約300人収容のホールをはじめ、会議室・セミナー室・和室等があり、学術・文化活動および課外活動の場として利用されています。

小串キャンパス 宇部市/医学部

KOGUSHI CAMPUS

医学部の学生が集う小串キャンパスは、宇部市の中心部にありながらも近くの河畔公園から四季を感じることができます。

そんな環境のもと、日々活発な教育・研究活動が行われています。



学生食堂（医心館1階）

営業時間（長期休業中は縮小営業）

月～金 8:00～19:00



利用時間

平日/休業期 9:00～21:45/9:00～17:30

土日/休業期 9:15～16:45/閉館



常盤キャンパス 宇部市/工学部

TOKIWA CAMPUS

工学部の学びの場である常盤キャンパスは、近くには宇部市の名所「常盤公園」があります。中四国地域の工学部では最大規模を誇り、研究施設も充実しています。



学生食堂（福利厚生棟内）

営業時間（長期休業中は縮小営業）

月～金 8:00～20:30

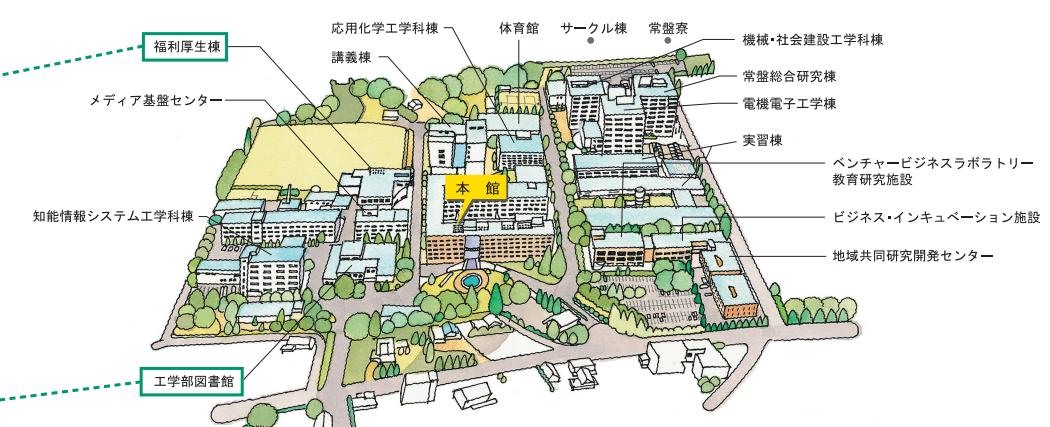
土 11:00～14:00



利用時間

平日/休業期 8:30～21:45/8:30～17:00

土日/休業期 11:15～18:45/閉館



シニアサマーカレッジ2007で充実したキャンパスライフを

長畠 実

大学教育機構 エクステンションセンター長

好評を得た昨年のシニアサマーカレッジ

昨年夏、全国の50歳以上の方を対象としてJTBと共同で開催した「シニアサマーカレッジ」には、青森県から福岡県までの13都府県から32人の方が参加されました。8月28日(月)～9月10日(日)の2週間にわたって、朝から夕方まで開講された23の講義は、山口の自然・歴史・文化・文学など山口県の魅力と本学の特色ある研究をテーマとして、二井山口県知事、丸本学長をはじめ、県内の学芸員、企業家、大学、本学教員が講師を務め、受講生の皆さんのが積極的な発言と質疑により、充実した講義となりました。

講義終了後には、大学関係者と受講生間でコンパが開催され交流を深めたり、週末にはそれが学習効果を高めるために、萩市・秋芳町などへ地域学習に出かけるなど、心に残る交流・学習が続きました。最後の発表では、「学ぶ楽しさを味わうことができた」「人の生き方に感動する機会を得た」「良いクラスメートとの出会いがあった」「また長期滞在したい」など感想が述べられ、昨年のシニアサマーカレッジは好評のうちに終了しました。

今年もシニアサマーカレッジ2007を開催

こうした成果を土台として、山口大学と弘前大学の2大学ではじまったシニアサマーカレッジの取組は、今年9国立大学（山口大学、弘前大学、北海道大学、岩手大学、信州大学、岐阜大学、香川大学、高知大学、宮崎大学）へと拡大して開催されることになりました。今年もそれぞれの大学が、各地域の特色ある自然・歴史・文化・産業等をテーマとした講義と学外での現地体験学習など、出会いと交流を深めながらの学習に工夫を凝らしています。

山口大学は、昨年と同じく「青春維新－歴史を転換する舞台・山口にて」をメインテーマとして、初回講義には先頃日本農学賞・読売農学賞を受賞された丸本学長の講義を配し、続いて、山口県の特色ある自然（秋吉台、温泉）、歴史（日本人の起源、大内文化、萩藩、井上馨、高杉晋作）、文学・美術（金子みすゞ、中原中也、種田山頭火、雪舟、萩焼）、本学教員の研究（電波望遠鏡、山口の食、山口の生活工芸、危機管理入門－巨大災害に備えて、白色発光ダイオード）というカリキュラム内容で構成しています。



昨年の卒業式（丸本学長からの卒業証書授与）



昨年の講義風景（熱心に質問する受講生）

今年の特徴は、県内博物館関係者のご協力を得て歴史・文学の内容をさらに充実させたこと、5日目には終日を学外講義として萩市に出かけ、雪舟と雲谷派の流れを実物を鑑賞しながらの学習、文化功労者の栄誉に輝いた吉賀大眉記念館 ((財)萩陶芸美術館)での作品解説学習、工房・登り窯の見学、萩市内のガイドツアーを企画したこと、最終日には2週間の成果を「私の中の山口」レポートとしてまとめ、受講された方の相互交流を通じてシニアサマーカレッジ全体の成果を確認するシンポジウムを企画したことなどです。

シニアサマーカレッジ2007への参加を呼びかけます

こうしたシニアサマーカレッジは、全国から参加されるシニアの皆さんと地域の皆さんとの学習・交流を通じて地域を活性化することも大きな目的の一つです。従って、山口県民の皆さんもシニアサマーカレッジの理念を具現化する重要な役割を担つております。県内在住の皆さんも積極的に参加いただき、全国からの受講生との心触れあう出会いと交流の輪を創っていただければ幸いに存じます。是非、今年の夏はシニアサマーカレッジ2007山口大学にご参加ください。

 国立大学法人 YAMAGUCHI UNIVERSITY 山口大学 開催期間 9月3日(月)～ 9月14日(金) <small>1講義120分が基本です</small>	講義内容	<small>※9月7日㈮講義8・9・10は萩市で学外講義です。</small>
	9／3(月) ■入学式・オリエンテーション・ウェルカムパーティー 【講義1】地球環境の保全と修復における微生物・植物・人類の協働 9／4(火) 【講義2】温泉とは 【講義3】人骨から日本人の起源と未来をさぐる 【講義4】高杉晋作の手紙 9／5(水) 【講義5】大内氏の文化遺跡 9／6(木) 【講義6】ラムサール条約に登録された秋吉台の自然 【講義7】井上馨－「三井の番頭」と呼ばれた男の実像－ 9／7(金) 【講義8～10】雪舟と雲谷派・山口県の代表的工芸である萩焼について	
	9月8日㈯～9月9日㈰ 終日自由時間 (別料金の課外プログラムをご案内する予定です)	
	9／10(月) 【講義11】電波でみた宇宙の姿 【講義12】金子みすゞさんのまなざし 9／11(火) 【講義13】山口の食について 【講義14】あなたにもできる危機管理入門 【講義15】蛍光ランプをおきかえる未来の光 9／12(水) 【講義16】山口の文学と風土 【講義17】萩藩天保期の藩財政 9／13(木) 【講義18】山口県の生活工芸 【講義19】癒しの俳人種田山頭火の世界 9／14(金) 【講義20】山口を語るシンポジウム ■卒業式・さよならパーティー	
	9月15日㈯～9月16日㈰ 終日自由時間 (別料金の課外プログラムをご案内する予定です)	

シニアサマーカレッジ2007の概要

※「シニアサマーカレッジ2007」詳細につきましては、下記の専用ホームページをご覧いただかずか、受付デスクまでご連絡ください。

- 専用ホームページ <http://www.sscollege.jp>
- 受付デスク 03-5950-0365 (JTBサン&サン内)

学内連絡先
 TEL : 083-933-5082
 E-mail : nagahata@yamaguchi-u.ac.jp

教員の卵たちへの期待と「学力向上等支援員派遣事業」

霜川 正幸

准教授 教育学部 附属教育実践総合センター



はじめに

5月中旬のことです。当時、教育委員会事務局に勤務していた私に、ある校長から1本の電話がありました。「うちの新採が辞めると言い出したぞ。説得はするけど、かなり悩んでる。」

名の通った大学の教員養成学部からストレートに採用され期待も大きかったようですが、子どもたちと上手くいかず、教職員との関係も崩れている様子で、状況把握、説得と学年部を中心とした支援をお願いしました。

後日、校長がふと漏らした「きっと、教えるということを一生懸命勉強してきたんだろうね。」という言葉が妙に心に残っています。

学力向上等支援員派遣事業をとおして

この事業は、教員養成GP：『「ちゃぶ台」方式による協働型教職研修計画』の協働体験の1つとして、教職を志す学生（以下「支援員」）を中学校に派遣し、生徒や教職員等に長期的・継続的に関わることをとおして、支援員の教職に対する意識や意欲の向上、実践的な資質能力の育成等を図ることを目指して、昨年12月からスタートしたものです。教育学部の村上林造教授とともに事務局を組んでいます。

あくまで、支援員の自発的な意志で、できる範囲の活動に、無理のない方法で取り組むことを原則と

し、派遣校も、学びの中心である学部や教室等での授業、ゼミ等との両立や移動にかかる安全に配慮し、大学から近い平川中、鴻南中、大殿中としました。

活動は、表1のように、教科や実習等の指導補助、特別な教育的支援の必要な生徒への支援、不登校・怠学傾向にある生徒の学習支援や相談対応が中心です。

現在、学校現場には、学力低下の問題に加えて、いじめ、不登校の増加や学級崩壊等様々な課題が山積しています。人間関係力の低下や規範意識の希薄さも指摘されています。

あの初任者も、生徒と様々な場面や時間を共有し実際にふれあう実践的な体験をし、教職員が展開する「技」に学びながら、目の前の生徒と共に歩いた経験があれば、違った教員人生のスタートとなつかもしれません。

○派遣状況（平成18年度実績：平成18年12月～平成19年3月：のべ数）

派遣校	学力向上等支援員数							派遣日数計	派遣時間数計
	合計	男	女	1年	2年	3年	4年		
平川中	39	18	21	4	0	31	0	4	65日
鴻南中	32	14	18	4	4	12	8	4	75日
大殿中	65	51	14	14	3	45	3	0	129日
3校計	136	83	53	22	7	88	11	8	269日
									505時間

○活動内容（平成18年度実績：平成18年12月～平成19年3月：週あたりコマ数）

派遣校	支 援 活 動 コ マ 数 (1 週)			
	授業補助（TT、少人数指導等）	学習支援・相談対応	特別活動・部活動支援	コマ計
平川中	4	3	1	8
鴻南中	2	6	0	8
大殿中	4	7	2	13
3校計	10	16	3	29

表1 学力向上等支援員派遣事業実績

「学校へ行こう！」ではすまらない

学校でよく耳にする言葉があります。「体験あって学びなし、間口の広がりあって深みなし。（になつ

中学校へ行こう！

今年も、大殿、鴻南、平川中で

勉強や部活動などを

教えてみませんか？

詳細な「説明会」で！ まずはご参加下さい！

新年度に向けた書き込み、南陽の3中学校で、各学年の学年別で活動の指導、

悩みや困りへの対応などについて、多くの力をもっています。

教職、特に中学校教員をめざす皆さんにとっても、実際の公立の中学校

生活を経験し、先輩たちの実践を見て学ぶことは大切なことです。

今後、社会で活躍していくために、ぜひ、お越しください。

あなたのため、生徒のため、みんなで頑張りましょう！

てはいけない！)」。支援員の中には、学校に行けば、参加すれば力がつくと思っている者もいます。

「提案のできる教員の卵になろう」と話します。体験を単なる体験で終わらせることのないよう、体験をおして何を学んだのか、どういう構えを築いたのか、だから中学校教員になった時に、自分なら何をしたいのか、何ができるのか、具体的に提案できる教育者になって欲しいと思います。

支援員たちは、月ごとの「支援員レポート（各支援員報告の集約とコメント集）」、自主運営による「学生交流会」等により、各支援員が得た成果、悩みや提案等を、他の支援員と共有し、学びあい、高めあおうとしています。

支援員と学校教職員との交流は、支援員にとって、実践を素材とした臨床的な学び、時と場所を共有した体験的な学びとなるだけでなく、学校にとっても、校内研修の充実、学校運営の活性化等につながっているそうです。

また、支援員たちは、支援員・学部・学校・市教委関係者からなる「連絡協議会」も合わせて、学びの深まりとともに、志を同じくする者同士の連帯意識を高めているようにも感じます。「個性溢れる一人ひとりの教員が、お互いを出し合い、支えあって、全ての教職員で、全ての子どもを育てる」という教職員集団の在り方を考える機会にもなってくれればと思っています。

学校現場では、教職員の分析力・企画力・実行力が求められます。PDCAサイクルを中心とする組織マネージメントや、協調性・協力性等の発揮により集団を維持し高める訓練にもなり、今後も継続していきたいと考えています。



學力向上等支援員派遣事業連絡協議會

平成19年3月22日、教育学部「ちゃぶ台ルーム」で開催しました。支援員からは、学校や大学に対する要望が出来上、学校での活動に留まらず、家庭や地域社会との連携につながる活動への意欲も表明されました。

おわりに

多くの初任者や若い教員の相談を受けてきました。「何をしたらいいんですか?」「どうしたら上手くいきますか?」という内容があります。一方で、「こう変えたいのですがいいですか?」「〇〇をやってみたいのですがいいですか?」という内容もあります。同じ年代なのに、同じように流行の格好をしているのに・・・何か違います。それは「活き」ではないでしょうか?

支援員たちには、将来、「生き」の良い教員になって欲しいと思います。教員として一本筋の通った「たくましさ」、重なる雪にしなりながら、ある時雄々しく伸び上がる若竹のような「しなやかさ」、そして「臨機の力」とも言うべき、定型化されないが幅広く対応できる生きてはたらく力を持った教員になって欲しいと願います。

「教員の卵」である支援員、学生たちに、そのための環境づくり、継続的・安定的な事業提供等を行うことが、私たちに課せられた責務と考えています。もちろん他学部の「教員の卵」も受け入れています。

最後に、ある日の支援員のコメントを紹介します。「指導の後に生徒たちと少し話す時間があった。皆素直で良い生徒ばかりで、早く委託実習に行きたいと思った。教員になりたいという思いも強まった感じがしている。」

The image consists of two parts. The left side shows a classroom with students at their desks, some looking towards the front. The right side features a green and red graphic for 'News クリック やまくら' (News Click Yamakura), which includes a small illustration of a person's head.

毎日新聞山口版（平成19年5月8日）

学内連絡先

字内連絡用
TEL : 083-933-5458

E-mail : m-shimo@yamaguchi-u.ac.jp

私の研究

杉井 学

准教授

大学情報機構
メディア基盤センター



IT技術を取り入れた研究

メディア基盤センターと 研究

私の研究専門分野は、多分「生物学」です。メディア基盤センターとは結びつかない専門分野かもしれません、ネットワーク工学、データベース工学、音響工学、教育学、物理学、生物学など、さまざまな研究分野の教員が集まっているのが、メディア基盤センターです。また、IT技術の発展に伴って、全学共通利用施設としてのメディア基盤センターでは、多岐にわたる要望や技術支援に応えなければならなくなりました。その結果、専門とする分野以外の高度な知識が必要になり、時々自分の専門は何と答えるべきか困る時があります。

私の「生物学」も少なからず貢献していると思っていますが、職員のさまざまな研究分野は、学内の情報環境整備において、重要な役割を果たしています。

機械学習システムと その応用

私の最初の研究は、試験管やフラスコを振りながら、生化学的な生物実験を行うものでした。しか

しIT技術の発展などから、生物学と情報学を組み合わせた研究ができるないか考え、「バイオインフォマティクス」（生物情報学）という分野の研究にたどりつきました。

私が行っている解析は、重要な機能を持つ遺伝子やタンパク質の配列情報から、機械学習システムを用いて、新たな規則や特徴的なパターンを発見し、同じ機能を持つ未知のタンパク質などを発見するというものです。

また、同じ機械学習システムを用いて、インターネット社会に蔓延する迷惑電子メール、いわゆるスパムメールを自動的に分類する方法の検討とシステムの開発も行っています。過去に受け取った正当なメールとスパムメールから、単語の出現頻度と語順の特徴を抽出し、その規則やパターンから、自動的にスパムメールを排除する仕組みを作ろうと考えています。一般的には、スパムメールの特徴を見つけ出せば、その特徴は利用者を問わず適用できるため、スパムメールからの特徴抽出に力が入れられてきました。しかし、新たに開発した規則発見プログラムの実験結果では、スパムメールの特徴

というよりは、むしろ正当なメールの規則性を発見し、正確に分類していることが明らかになりました。種類も数も増大したスパムメールの現状を考えると、正当なメール群の特徴のほうが正確に判断できるのではないかと考えています。

研究心の源

学生の頃、「インターネットで宝探し」というコラムを書いたことがあります。“インターネットの向こう側には必ず人がいる”。だから、“高度なコンピュータネットワークであることよりも、人と人とのを結ぶコミュニケーションツールであることのほうが重要”という内容でした。そして、研究分野が変わった今でも、その原動力は、システムの仕組みや機器の構造などへの興味ではなく、膨大な情報や人とのコミュニケーションをどのように実現し、それをどのように活用していくべきかという点にあります。私の研究は、分野を超えた課題の解決に挑戦しています。

学内連絡先
TEL・FAX : 083-933-5779
E-mail : manabu@yamaguchi-u.ac.jp

教員から寄せられた著書

パーソナルファイナンス入門：私たちの生活とお金

(榎原茂樹・城下賢吾・姜喜永・砂川伸幸編著 中央経済社 2006年4月発行)



年金に対する不安、消費税を含む増税不安、経済状況に左右される雇用不安など、われわれの生活はかつてないほど変化にさらされています。今までのように、国あるいは企業が私たちの生活の面倒を将来にわたって見てくれる時代は過ぎ去りました。今後は、自分たちの責任で就職・結婚・子育て・老後など、将来の生活資金を確保する必要性が出てきています。「パーソナルファイナンス入門」は将来にわたるライフプランの設計方法などを基本的な専門知識を持たない高校生でもわかるように書かれた本です。

本書では短・中・長期的に実行可能な目標（たとえば、車の購入など）を立てた後、それを具体化させるための収入と費用の計算方法などをわかりやすく解説しています。また、資金の運用あるいは住宅や教育資金の借り入れ、あるいは若い人が陥りやすい金銭トラブルの対処方法などの基礎

知識も提供しています。

現在のような超低金利の時代、リスクを恐れては老後の生活をまかなうのに十分な資金を増やすのはおろか日々の生活を楽しく快適に余裕を持って過ごすこともできません。ある程度リスクをとることにより、高いリターンを求める必要かもしれません。ただし闇雲にリスクをとることもお勧めできません。リスクの中身がどのようなものかを理解することが必要になります。それに基礎的な金融商品の知識が必要不可欠です。

本書は比較的なじみのある預貯金、株、債券、保険から住宅ローン、学生ローン、年金、投資信託、先物・オプションのような金融派生商品などを解説しています。これら知識は個々人のライフプランを立てる上で必要なものです。これを知ると知らないのでは個々人の将来の生活を大きく変えることになるでしょう。

城下 賢吾 教授 経済学部 経営学科
TEL : 083-933-5561 E-mail : sirosita@yamaguchi-u.ac.jp

日本熱測定学会編 「山頂はなぜ涼しいか 熱・エネルギーの科学」

(東京化学同人 科学のとびら47 2006年10月発行)



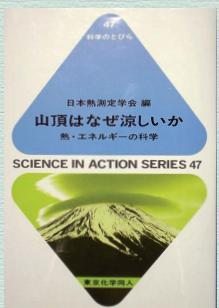
熱とエネルギーに関する33の質問に答える形で、日本熱測定学会のベテラン会員中心の16人が分担執筆しました。熱・温度・エネルギー、これらをちゃんと説明するのは理系の大学出身者でも、中々大変です。

内容は8章にまとめられ、それらを要約すると：物質の温度と熱運動／熱さ冷たさとは何？；熱、熱いものから冷たいものへ伝わるエネルギー；エネルギーの保存と変換／エネルギーは移ろい易いが不滅である；状態変化、固体・液体・気体間の変化とは何？；化学変化／ものが変化することはどういうこと？；電磁波はどのように利用されているの；地球の環境・気象とエネルギー／太陽エネルギーがもたらすものとは；宇宙のエネルギーとエントロピー／万物は流転するなどとなっています。

その中に「ゴムを伸ばすと暖かくなるのはなぜ？」

「発電所で電気はどのようにしてつくられるか？」
「手と手をこすりあわせるとどうしてあたたかくなるの？」
「エアコンでなぜ冷暖房できるか？」
「電子レンジで食品が加熱できるのはなぜ？」
「地球温暖化はなぜ起こる？」
「人類が消費しているエネルギーはどのくらい？」
「宇宙のエントロピーが増え続けるとどうなるの？」表題の「山頂はなぜ涼しいの？」などなど、これ疑問なの？と思うような問題から、なかなか哲学的な深い問題まで、兎に角、専門の執筆者により正確に面白く書かれています。

高校生から専門家まで、頭の体操の材料として、今注目の環境問題の基礎勉強として、学生の教養、中・高校や大学の先生方の脱線ネタ材料として、科学技術立国の構成員として一読して損の無い内容です。



溝田 忠人 名誉教授/特命教授(教育) 工学部 工学教育研究センター
E-mail : tmizo@mtb.biglobe.ne.jp

教員から寄せられた著書



纒纒 厚著『侵略戦争。』

(台湾・高雄復文図書出版社 2007年5月発行)



本書は、かつて筑摩書房から出版した『侵略戦争』をベースとし、新たな論考を加え、韓国（凡友社、2005年8月刊）に続いて台湾で出版したものです。

私は近年、東アジア（特に中国、台湾、韓国、日本）近現代歴史文化関係史の領域を主要な研究対象として、研究活動の場を東アジア地域にシフトしています。この間、これらの諸国での国際シンポや講演、さらには論文の連載や自著の出版に銳意努力しており、本書もその成果の一環です。

本書では台湾での出版を特に意識した訳ではありませんが、「台湾出兵の帝国日本の成立」と題する新たな論考を収めました。同論考は、2004年11月に日本の台湾出兵（1874年）先である台湾南部に位置する屏東県牡丹社郷で開催された国際シンポでの報告をベースにしたものです。琉球漁民が同地で遭難し、同地の原住民（パイヤン族）に殺害された事件を口実に西郷従道（西郷隆盛の弟）

が率いる3600人の日本軍兵士が同地に侵攻した事件を現地台湾では牡丹社郷事件と称し、私たち日本では台湾出兵と呼んでいます。

私はこの事件を当時の清国（現中国）が握る華夷秩序を解体に追い込み、そこに万国公法秩序を取り込むことで日本の覇権主義を貫徹しようとした近代日本の意図の表れと捉えました。以後、日本は20年後に日清戦争、その10年後に日露戦争、そのまた10年後に第一次世界大戦に「戦勝国」となることで、言うならば「大和秩序」を創出しました。それがやがては大東亜共栄圏構想に繋がつていきました。こうした近代日本の全体像を把握する歴史用語として本書の題名である「侵略戦争」を用いています。その意味で「侵略戦争」の起点である台湾出兵の位置は重要だと考えています。

なお、私は本年6月4日、同地で開催されたシンポで本書出版の記念講演を行いました。また、本書は本年中に中国でも出版が決定しています。

纒纒 厚 教授 人文学部 人文社会学科
TEL : 083-933-5278 E-mail : koketsu@yamaguchi-u.ac.jp

「デジタル山口大学」放映のお知らせ

山口大学の大学活動を紹介する番組として、山口ケーブルビジョン(株)12chで毎月1日から15日15:30～15:45に放映しています。サービスエリアは山口市、防府市、宇部市、美東町です（平成19年7月現在、一部地域を除く）。

放送中の番組および過去に放送した番組は、山口大学Webページでもご覧いただけます。

【URL】<http://ds21.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~www-yu/digiyama/index/>

○8～11月の番組予定

「被害防止策を探れ」～地域とともに学ぶ農学部～	[8月1日(水)～15日(水)]
医学部の共育の取組みを特集（予定）	[9月1日(土)～15日(土)]
理学部の共育の取組みを特集（予定）	[10月1日(月)～15日(月)]
経済学部の共育の取組みを特集（予定）	[11月1日(木)～15日(木)]

○ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【E-mail】sh011@yamaguchi-u.ac.jp

※記事の訂正とお詫び

YU Information 70号 31頁

左段下から1行目

「平方に関するリーマン・ジーケル公式」を
「平方に関する近似函数等式の本橋公式」に
訂正してお詫び申し上げます。

平成19年度公開講座のお知らせ

講 座 名 ・ 講 師 名	受講対象者	開講期間	時間帯
小麦栽培から始めるパンづくり 講師：高橋 肇（農学部教授）、嘉村則男（同技術専門職員）、徳永 豊（スリーヒルズアソシエイツ代表）、中司祐典（山口県農業試験場）	市民一般（成人対象）	5/30、8/22、11/7	10:00～15:00
小・中学校教員のための英語・国際理解指導者研修会 講師：エドワード・ナサニエル（大学教育センター准教授）、赤木弥生（国際センター講師）	小・中学校教員及びテーマに関心のある方	8/2～8/3	10:00～17:00
木工入門 講師：岡村吉永（教育学部准教授）	市民一般（小学生以上） ※小学生は保護者同伴	①8/10～8/12 ②8/31～9/2	8:30～13:00
理科実験講座 講師：池田幸夫（教育学部教授）、千々和一豊・佐伯英人（同准教授）	小・中学校教員	8/22～8/23	9:00～16:15
安らかな終末期を過ごすために 講師：東 玲子（大学院医学系研究科教授）、齊田菜穂子（同講師）	市民一般	8/20～8/21	10:00～12:00
今日から始めるグリーンライフ講座 講師：高橋 肇（農学部教授）、執行正義・藤間 充・竹松葉子（同准教授）、荒木英樹（同助教）、嘉村則男（同技術専門職員）、長砂光治・谷口和也・井上敬之・高田 晓（同技術職員）	市民一般	8/31、10/5、11/30、H20.2/29	10:00～15:00
農山漁村での安らかな暮らしを願って、柿本人麻呂を祀る 講師：吉村 誠（教育学部教授）、高山宣道（八幡人丸神社宮司）	市民一般（成人対象）	9/29～9/30	13:00～16:00 10:00～12:00
生活習慣病とメタボリック・シンドローム 講師：谷澤幸生・坂井田 功（大学院医学系研究科教授）、藤井崇史（同准教授）、三浦俊郎（同講師）、梅本誠治（医学部附属病院准教授）、石原秀行（同助教）	市民一般	10/1、15、22、29 11/12、19	19:00～20:30
萩焼を生んだ山口の大地 講師：大和田正明（大学院理工学研究科教授）、澤井長雄・永尾隆志・阿部利弥（同准教授）	市民一般	10/13～10/27 (毎週土曜 計3回)	13:00～15:00
「現代の教育問題」を読み解く 講師：小川 勤（大学教育センター教授）	教育関係者ほか	10/6、20、27、11/10、24、12/1	14:00～15:30
温泉の話－山口県とニュージーランドの温泉を例にして－（防府会場） 講師：西村祐二郎（山口大学名誉教授）	市民一般	10/6～10/27 (毎週土曜 計4回)	13:30～15:00
やまぐちサタデー・カレッジ2007（日本文化コース） 仏をめざす人々の物語を読む 講師：柏木寧子（人文学部准教授）	市民一般・学生	10/6～10/27 (毎週土曜 計4回)	15:10～16:40
やまぐちサタデー・カレッジ2007（外国語学習コース：フランス語） 「星の王子さま」をフランス語で読む 講師：井上三朗（人文学部教授）	市民一般・学生	10/6～12/1 (毎週土曜 計8回) ※11/3を除く	13:30～15:00

お問い合わせ・申し込み

山口大学エクステンションセンター

〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL(083)933-5059 FAX(083)933-5154

E-mail:kyoutu@yamaguchi-u.ac.jp

・電話受付の場合：月曜～金曜 8:30～17:00 (土・日・祝祭日は除く)

新聞掲載された山大・地域から見た山大

5月

- ◆ 犬のがん開腹せず特定
山口大奥田准教授ら検査法を開発
(読売:3日)
- ◆ 山大グループに科学技術賞
文科大臣表彰 大動脈瘤薬物治療を研究
(読売:4日)
- ◆ 寄稿
マスメディアを活用した早期防災学習を
山大大学院理工学研究科山本哲朗教授
(山口:6日)
- ◆ 日本語の面白さ学ぼう ー13日に国語国文学会ー¹
山大人文学部 研究成果を一般公開
(読売:8日)
- ◆ Newsクリック やまぐち
"教員の卵"中学に派遣
山口大と山口市連携 実践的指導力など効果
生徒の学習意欲も向上 (毎日:8日)
- ◆ 山口を学ぼう
山口大・JTB団塊向け講座 (中国:10日)
- ◆ 商店街エスコート
学生ボランティア活動半年
山口市 清掃活動や巡回、あいさつ
(読売:12日)
- ◆ 山銀が健康講座開催
中高年対象50人参加 正しい食生活学ぶ
(毎日・読売:13日)
- ◆ 山口の歴史観光地知って
山大、県立大留学生が視察
(読売:13日、毎日:19日)
- ◆ 大学新事情 新 教育の森・やまぐち ◆1◆
「ぶっつん学生 メンタル面の相談群抜く」
窓口にカウンセラー常駐 (毎日:15日)
- ◆ 脳冷却→てんかん抑制実証 ー山口大医学部ー²
原因電流の減少に効果 (読売:16日)
- ◆ 大学新事情 新 教育の森・やまぐち ◆2◆
「ブランド力 学生参画で自主性伸ばす」
地域に送り込む支援も (毎日:16日)
- ◆ 丸本山大学長が就任 1年振り返る
(山口・読売:16日)
- ◆ 大学新事情 新 教育の森・やまぐち ◆3◆
「キャリア教育 「ダブルスクール」学内版も」
キーワードは「資格」「就職」 (毎日:17日)
- ◆ 経済活性化へ中小企業と研究促進
山口大が地域交流会
年間2ヶ所程度 来月5日下関で意見交換
(中国:18日)
- ◆ 大学新事情 新 教育の森・やまぐち ◆4◆
「入試広報 学生がPRに一役」
出前授業や高校連携も (毎日:18日)
- ◆ 23日に山大経済学部学術講演会
須田日銀政策審議委員招く (山口:19、24日)

- ◆ 大学新事情 新 教育の森・やまぐち ◆5◆
「意識改革 生き残り戦略次々」
正念場に学長が陣頭 (毎日:19日)
- ◆ 虫食いカビ感染▶香り放出
ー山大・京大チーム解明ー³
植物仲間に「警報」
受信で免疫力高める (読売:21日)
- ◆ 園児向けに「防災ソング」
ー山大・瀧本准教授が作詞ー⁴
地震の際身の守り方を説明 (朝日:22日)
- ◆ 「枯れ熟れ」気球で調査
山口大 小麦畑を初の空撮
(中国:23日、読売:27日)
- ◆ 地方国立大学の経済効果「絶大」
ー文科省が初の調査ー⁵
山口大年667億円
(西日本:23日、毎日:24日、山口・中国:25日、読売:27日)
- ◆ 防犯に山口大生の力
地域と連携パトロール サークル発足
(中国:24日)
- ◆ 山大教授を招き食育の公開講座
あす、あいぱーく光 (山口:25日)
- ◆ 丸本卓哉山口大学学長が「日本農学賞・読売農学賞」受賞
ーチャレンジこそ山口大学のスピリットー
(読売:26日)
- ◆ 出かけませんか
「気になる子ども」の学習会
ー教育学部木谷秀勝・准教授の講演ー⁶
(読売:26日)
- ◆ 山大公開授業 ー埋蔵文化財資料館ー⁷
なりきって古代米挑戦
貫頭衣で小学生ら田植え (山口:27日)
- ◆ やまぐちーの花畑をつくろう!
山口大学に広大なコスモス畑
(サンデー山口:27日)
- ◆ 湯尻・山大講師ら5人に研究費援助
ー宇部興産学術振興財団ー (朝日・毎日:30日)
- ◆ 山大文化会第9回音楽祭 *23日山口市民会館*
邦楽、吹奏楽…… 6団体競演
(読売:31日、サンデー山口:6月23日)
- ◆ 地域ぐるみで防犯推進
山口署ボランティア団体など対面
(読売:31日、毎日:6月1日)
- ◆ ベッド周りの動きセンサーで検知
見守りシステム開発
中電工と山口大 転倒事故防止に効果
(中国:31日)

6月

- ◆ 新聞への関心度調査 ー山口大ー
学生の活字離れ懸念 生協で各紙を販売
(毎日:1日)

- ◆ 防犯活動サークル「Y U S A」を立ち上げた
山口大人文学部4年 竹内清香会長
(中国:1日、山口:4日)
- ◆ **最新 色々 情報**
 - 電波望遠鏡に変身 30億光年先の銀河核ガス噴射くつきり
国際通信用パラボラアンテナ
山口大藤沢健太准教授 宇宙の口マン求め
二人三脚 (読売:1日)
- ◆ 中四国縄文研究会
講演、研究発表など (サンデー山口:2日)
- ◆ 山口大学公開講座
23日開催の2講座参加者募集 (サンデー山口:3日)
- ◆ あの人この人 話題の人
大学院医学系研究科教授 西田 輝夫さん
研究で患者さん幸せに (読売:4日)
- ◆ リンパ浮腫の症状を緩和
山大大学院と医学部附属病院 研究チーム
発足
マッサージや患部圧迫など 患者のセルフ
ケアも可能 (読売:5日)
- ◆ **山大教授** **下関商高**
遠隔授業受ける
情報処理科の33人 (山口:5日)
- ◆ 10日・時の記念日に講演 一山大時間学研究所一
(読売:7日)
- ◆ 冠動脈疾患を知る
大学院器官病態内科学教授
医学部附属病院長 松崎 益徳 (朝日:9日)
- ◆ 8大学18チーム ディベート白熱
山大で姫山杯 (読売:12日)
- ◆ **News クリック やまぐち**
なぜ 今 マジック？
「技」の楽しさ、奥深さ浸透 大学サークル、温泉にバー (毎日:14日)
- ◆ 学生の自殺防止マニュアル作成
山口大、全教員に配布
全国200大学でも活用 対応法など具体的
(読売:14日)
- ◆ あの人この人 話題の人
山口大生の防犯ボランティア団体
「Y U S A」会長竹内 清香さん
顔の見える地域が目標
(読売:18日、中国:19日)
- ◆ これからの生き方を学ぶ「ひと学」
8月4日経済学部鍋山祥子准教授講義
(サンデー山口:16日)
- ◆ 山口大発VB 9月始動
堀憲次教授(産学公連携・創業支援機構副
機構長、地域共同研究開発センター長)らの
グループが開発
合成経路開発効率化へ 遷移状態D Bを活
用 (化学工業日報:18日)

- ◆ 當任され学生に充実感
山口大の耕作隊栽培・収穫実地に学ぶ
(中国:19日)
- ◆ **山口医療画像研究センター発足1年**
今月 初の月間黒字へ

遠隔地からM R I、C T画像受診
↓ ↓ ↓
山大放射線科医が読影、病気特定

 契約医療機関増加 依頼件数1日平均40件
(読売:20日)
- ◆ 地元のおいしさ知つて
山大で「県産農水産物の日」
(毎日:21日、山口:22日)
- ◆ 超音波で離床検知
一山口大大学院田中幹也教授中電工と共同開発一
認知症老人の介護負担軽減 来春にも発売
(読売:21日)
- ◆ アスペルガー症候群の正しい理解と対応
「かかわり」「コミュニケーション」「こだわり」の障害という3つの特徴を併せ持った
発達障害
教育学部附属教育実践総合センター准教授
木谷 秀勝氏に聞く (読売:23日)
- ◆ **防災授業** 正しく知って、確かな備えを！
土砂災害を学ぶ！
大学院理工学研究科教授 山本 哲朗氏に聞く
(毎日:23日)
- ◆ 組み立て簡単災害避難住宅
県、山口大など共同開発 (西日本:23日)
- ◆ 山大文化会演劇部寸劇 (サンデー山口:23日)
- ◆ 山口大学長に日本農学賞
「微生物と環境修復技術」研究で
(毎日・山口:23、山口:29日)
- ◆ 「就活は目的意識もって」
山大、3年生70人交流会 (山口:24日)
- ◆ 山口大学理学部・公開講座
「サマースクール」参加者募集
(サンデー山口:27日)
- ◆ 組織再編に伴い新連携体制検討
山大農学部と県の研究機関
(日本農業新聞:27日、山口:29日)
- ◆ 県産小麦でパンづくりいかが
一山大公開講座意見交換一
ニシノカオリ試験販売へ (山口:28日)
- ◆ 地学の不思議専門家が講義 一新南陽高一
大学院理工学研究科金折裕司教授
(中国:29日)

編集後記

今年のオープンキャンパスの特徴は、学生企画の催しがたくさんあることでしょう。高校生の立場からしても、入学後の自分の姿がより見えやすいという意味で、入っていきやすい企画になっていると思います。昨年のオープンキャンパス特集号では読者のアンケート調査を試みましたが、その中には教員の研究や活動についてもっと知りたいという希望がかなりありました。紙面の都合でごく一部の教員しか紹介できませんが、今号では全ての学部の先生の「私の授業」「私の研究」を掲載することとしました。

大学は「知の資源」が最も集中している場です。それは個々の教員の頭の中や研究組織、そして図書館、研究室、実験室、標本などの設備などの中だけにあるのではなく、それを学ぼうとする学生の中にも実は存在しています。オープンキャンパスが全体として山口大学に存在する知的資源を高校生にうまく伝えることができ、参加者がそこから感じるものがあり、自分の「夢が具体的な形」を描くようになる、そして本号がその役割の一部を担えたらと思います。

(河野 真治)

◎山口大学 Web ページ <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学広報第八十四号

平成十九年七月三十一日発行

編集発行 山口大学広報戦略委員会

(総務部 総務課)

住所 山口市吉田一六七七一一

電話 (083) 9333-5007

FAX (083) 9333-5013

E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

印刷：山口一一印刷

広報戦略委員会委員

平田 博教	井上 重巳	富永 倫彦	三池 秀敏	近久 博志	長畠 実	利部 聰	浜本 義彦	武藤 正彦	宮田 雄一郎	河野 真治	塩田 芳信	平野 隆真	福田 隆真	村田 秀一	(企画広報担当副学長)
(事務局)	(事務局)	(アドミッションセンター)	(大学情報機構)	(大学公連携・創業支援機構)	(農学部)	(大学教育機構)	(医学部)	(理学部)	(教育学部)	(経済学部)	(人文学部)	(教育学部)	(教育学部)	(企画広報担当副学長補佐)	

※ 次号は11月30日発行予定です。(5月・7月・11月・3月の年4回発行予定)

表紙説明

「第36回七夕祭」

7月7日(土)、山口大学吉田キャンパスで「第36回七夕祭」を開催しました。この祭は、吉田寮(男)・楢野寮(女)の寮生による七夕祭実行委員会約130人が4ヶ月にわたって準備をしてきました。

当日は、各サークルの発表会や116団体による模擬店のかけ声、メインステージでの企画出しもの・よさこい踊り・寮生が創作したみこし「龍！」の練り歩き・巨大提灯への願い事を書いた短冊飾り、暗くなるにつれて提灯のかもしだす灯りが七夕の風情を増し、キャンパスは多くの来場者で賑わいました。

